

■浜松城入場料金と時間

入場料(個人)	大人(高校生以上)200円(天守門・天守閣共通) ※小中学生は無料
団体割引	30人以上…1割引 100人以上…2割引
自動式望遠鏡	1回100円
開館時間	午前8:30～午後4:30
休館日	12月29日・30日・31日

■浜松城への交通(JR浜松駅から)

- 遠鉄バスご利用の場合
バスターミナル(1)乗り場発のすべてのバス
「市役所南」下車→徒歩 約6分
- タクシーご利用の場合
浜松駅北・南口タクシー乗り場より乗車約5分
- マイカー、大型バスをご利用の場合
浜松ICより約30分、浜松西ICより約30分、浜松浜北ICより約40分
※浜松城公園駐車場または近隣の民間駐車場をご利用下さい。
※大型バス駐車場あり。空き状況、ご予約等は公園駐車場へお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ

[浜松城のご入場に関するお問い合わせ先] 受付時間/8:30～16:30

[浜松城] 〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町100-2
TEL 053-453-3872 / FAX 053-453-4001
ホームページ <http://www.hamamatsu-navi.jp/shiro/>

[公園に関するお問い合わせ先] 受付時間/8:30～17:00(月～金)

[一般財団法人浜松公園緑地協会]
〒435-0045 静岡県浜松市中区上島3-27-12
TEL 053-411-6687 / FAX 053-464-7274

[駐車場に関するお問い合わせ先] 受付時間/8:30～17:00

[浜松城公園 駐車場] TEL 053-457-0088 / FAX 053-457-0089
※天守閣又は公園利用目的以外の駐車はご遠慮願います。

[歴史等に関しては]

[浜松市中央図書館 郷土資料室]
〒430-0947 静岡県浜松市中区松城町214-21
TEL 053-456-0234 FAX 053-453-2324
E-mail: chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
休 館 日/月曜日(祝日開館)、第4木曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間/平日 午前9:00～午後7:00、土日祝 午前9:00～午後5:30

記念スタンプ



天守門を140年ぶりに復元

浜松城



浜松城公園管理運営共同事業体

歩いて感じる

浜松 家康の散歩道

家康ゆかりの地、伝説を歩いてみませんか？
若き日の家康ゆかりの地、旧跡、名所をめぐるショートトリップ。
戦国時代のかすかな息吹を感じてみませんか？



◀羊歯印(しだじるし)
浜松駅から浜松城までの街灯の最上に、家康兜印の「羊歯」があり、この羊歯印に沿って行くと浜松城に辿り着くことができます。

家康の散歩道

1 二代将軍徳川秀忠公誕生の井戸
ひでたごう
二代将軍秀忠が産ぶ湯につかったと伝えられる井戸跡。新川交番裏。
②まで約800m(徒歩約10分)

2 浜松八幡宮
三方原合戦で敗走してきた家康公が逃げ込んだとされる大桶の洞。
③まで約400m(徒歩約5分)

3 椿姫観音
つばきひめ
築山御前の義理の従妹で家康と戦い討死した引間城の女城主、椿姫の伝説の残る場所。
④まで約600m(徒歩約8分)

4 東照宮(引馬古城址)
ひくま
浜松城の前身引間城跡、日光、久能山と同じく家康(権現様)を祭るお宮。
⑤まで約1km(徒歩約12分)

5 五社神社・諏訪神社
徳川家の歴史と深く関わる子育て神社。
⑥まで約500m(徒歩約7分)

6 家康公鎧掛松
よろいかけのまつ
三方ヶ原の合戦より帰城した家康が鎧を脱いで松の枝に掛けたと伝えられている。
⑦まで約50m(徒歩約1分)

7 浜松城
徳川15代の礎を築いた出世城。野面積みの石垣が往事を物語る。
⑧まで約1.6km(徒歩約20分)

8 本多肥後守忠真の碑
ただね
三方ヶ原の合戦で殿(しんがり)をつとめ討死した本多忠勝のおじ忠真の碑。碑文の題字は16代家達公によるもの。
⑨まですぐ

9 犀ヶ崖古戦場
さいががけ
三方ヶ原の合戦の時、迫る武田軍を布を張り橋と見せかけて崖に落とした。
⑩まで約50m(徒歩約1分)

10 夏目次郎左衛門吉信の碑
なつめじろ
三方ヶ原の合戦の際、家康の命を救いその身代わりとなって討死した勇猛な家臣の碑。
⑪まで約1.1km(徒歩約14分)

11 普濟寺
ふさいじ
由緒ある曹洞宗の寺院。三方ヶ原の合戦では戦略上、炎上している。
⑫まで約300m(徒歩約4分)

12 西来院
さいらいいん
藤の名所として知られる。家康の正室、築山御前の廟所。
⑬まで約400m(徒歩約5分)

13 宗源院
そうげんいん
普濟寺十三派の在天派に属する。在城時家康が弓の稽古に励んだといわれる。
⑭まで約1.5km(徒歩約19分)

14 浜松市博物館
浜松の歴史を伝える博物館。家康に関する史料も多い。
⑮まで約600m(徒歩約8分)

15 太刀洗いの池
たちらい
家康の正室・築山御前は38才の時、暗殺された。その時血のついた太刀を洗ったといわれている。
GOAL!!

約10キロ!!
大人の足で約2時間じゃ

家康くん
出社大名

あなたの知らない

天下盗り

出世城伝説の 秘密にせまる!! 物語

後に天下人となった徳川家康。その若き29〜45才の頃、今川、武田、織田など戦国の世に名を上げた、周辺諸国の名家、強大な戦国大名に囲まれ、戦い生き延びて、そして、天下盗りの夢をつかんだ場所が、浜松城です。

（生国の岡崎を離れ、駿府（現在の静岡市）の今川家で送った人質生活、青年期に織田家と同盟を結び、岡崎から西遠までを支配下におさめ、戦国大名として着実に力をつけていきました。耐え難きを耐え、力を蓄え、徳川三〇〇年の礎となった17年間の浜松城時代のエピソードを史跡とともにご紹介します。家康の生涯最大の敗戦とも言えるのが、元龜三年（一五七二）の三方ヶ原の合戦です。南下してきた、武田軍2万7千に對するは徳川1万2千。天下に名のとどろく武田騎馬軍団に多勢に無勢。無惨に敗走することになります。

この時多くの部下を失い、命からがら城に逃げかえってきた

家康生涯最大の敗戦と言われる三方ヶ原の合戦は、いくつもの伝説を残しています。

浜松城経由幕府中核へ!? 出世城と呼ばれた浜松城

家康が天下統一を果たし、駿府に入城した後、浜松城は主に家康ゆかりの譜代大名が城主となりました。概ね五万石前後で、浜松藩政三〇〇年の間に、再任を含め、25代の城主が誕生し、老中に5人、大阪城代2人、京都所司代2人、寺社奉行に4人（兼任含む）が登用され、はま松は、出世城なり、初松魚（松島十湖の句も残されています。特に有名な城主は、天保の改革で知られる、水野忠邦。唐津藩主時代に昇格のため、願い出て浜松藩主となり、頭角をあらわし、後に老中となったと言われています。



若き日の徳川家康公の銅像
（浜松城公園内）

◆ 浜松築城を家康から 命じられた木原吉次

築城を命じられたのは、倉橋宗三郎、普請奉行と木原吉次、小川家次ともに惣奉行の3人で、このうち吉次が中心で、四四〇石に出世し、徳川家の大工頭になっていきます。吉次が一族が住んだと伝わる袋井市木原に、建築関係者の信仰を集めていた許禰神社があります。



◆ 天守台地下にある井戸

城にとって重要なのが、水。浜松市史によると、浜松城には天守台の穴蔵、天守曲輪の埋門そばは本丸に各1、2の丸に3、作左曲輪に4、計10本の井戸、清水曲輪にわき水があつたといひます。天守台の井戸は、再建の時に残し今の天守閣の地下室にあります。直径1.3メートル、深さ1メートルほどで、底は砂利や砕石を敷き詰めています。もちろん、今は水がありません。戦国時代、城の水利は極秘だったため、浜松城の場合も資料がなく、詳しいことは分かりません。



八 エピソード① 八幡宮と雲立ちの楠

三方ヶ原の合戦に敗れた家康が、八幡宮に敗走、楠の洞穴に忍び敵勢からのがれ、秘策を練っていました。すると、楠の上に雲がかかり、犀が崖の勝利をえ、その後楠は、「雲立ちの楠」と呼ばれました。

小 エピソード② 豆餅と銭取



家康が三方ヶ原の合戦で武田勢に追われて逃げ帰る途中、おなががすいすい歩けなくなっていました。ふと見ると、茶店で小豆餅を売っています。おばあさんから餅を受け取り、口に運んでいると、そこに武田勢がやってきました。あわてて逃げ出す家康におばあさんもおびつくり、「食い逃げは許さん！」と追いかけること数キロ、見事代金を受け取ったと言われています。そして、茶店のあった地を「小豆餅」銭を受け取った場所に「銭取」という地名が残されています。しかし、おばあさんの健脚ぶりにもびつくりですね。

白 エピソード③ 白尾(しらお)



三方ヶ原の合戦の負けいくさで、家康は白尾にまたがり八幡神社へ。そして楠のほら穴に隠れました。馬のしっぽが見え、村人が見つけ「お殿様、白尾が出ています。あわててしっぽをかくし、武田軍の追手をのがれました。家康は、恩賞として村人に「白尾」の名を与えました。

小 エピソード④ 小粥(おがい)



家康は逃けているうち空腹になり、ある農家へ入りました。老夫婦は「おはよう。とてもお殿様になるものは、いざいません。家康は「空腹にまずいものなし。一杯くれ」。家康はおかゆを何杯も食べました。のちに、おかゆを「おせいよう」になった礼として「小粥」の名を与えました。小粥家は庄屋をつとめ代々栄えました。

犀ヶ崖資料館

犀ヶ崖は、浜松城の北1キロ、三方原台地がき裂、陥没してできた長さ3キロ、深さ40メートル、幅50メートルの断が。大敗を喫した家康の部下(大久保忠世、天野康景)が「矢報いよう」と鉄砲手16名を主に百余名ほどを編成し、犀が崖北方に陣営の武田勢の後方へ出るや夜襲しました。武田勢は多数の戦死者を出し、崖下には人馬が山と積まれました。この付近を布橋というのは、ここに布の橋を架し武田軍をみちびいたからだと言われています。

犀ヶ崖資料館

犀ヶ崖の戦いのあと、転落死した将兵のうめき声が谷底からきこえて、人々を苦しめた。武田の霊を慰めるため、2年後の天正2年(一五七四)、家康が宗円という僧を招き大念仏をあげたところ、その声がやんだと言われています。犀ヶ崖資料館はその宗円が庵したところと伝えられる、旧宗円堂を資料館として整備したもので、遠州大念仏及び三方原合戦に関する資料が展示されています。



浜松城公園ご案内



浜松城の石垣(野面積み)

浜松城の石垣は、自然石を上下に組み合わせ、積み上げる野面積みです。表面にすき間があり一見崩れやすそうに見えるますが、奥が深く内側に小石や砂利を詰め、浜松市内の大草山、根本山、湖西市知波田産の珪岩で浜名湖や佐鳴湖など水路を使って運ばれました。江戸時代初期以前まではよくこの方法が用



曲輪

曲輪とは、城やとりでを石や土で囲んだところです。浜松城では、天守曲輪の他、清水・西堀城作左の3つの曲輪があります。作左曲輪の由来は、譜代家臣の本多作左衛門重次が構築したからと言われています。

- 安政年間古図による浜松城公園周辺図
安政年間の浜松城および城下町の様子と、現在の浜松中心部との比較ができる浜松城公園周辺案内図。
 - 浜松市美術館
園内には浜松市美術館があり、常設展の他に、企画展も活発に行っています。
 - 中央芝生広場
浜松城を背景に広がるの芝生広場。休日には大勢の家族連れで賑わい笑顔があふれます。
 - 浜松市茶室 松韻亭
茶会など市民が利用できる施設。皇茶サービス(有料)もあり、気軽に利用できます。
 - 天守門
天守門は、天守台の東に位置する櫓門(やぐらもん)で、浜松城の特徴的な存在。平成26年3月復元。
- 営業時間 / 午前10:00~12:00・午後1:00~4:00
● 利用料金400円(お茶菓子付き)
※茶室の休館日は休業いたします。

